

R4-R8の西牟婁地域の減災に係る 取組方針(第2期)での特筆事例

●各機関の特筆事例

- 田辺市：老朽化したポンプ場の改築及び改修
 - 白浜町：洪水ハザードマップの作成
 - 上富田町：砂利採取
 - 和歌山県、市町など：令和4年度 熊野川総合水防演習
 - 和歌山県：水害リスク情報の高度化
- (参考：東牟婁地域の事例)
- すさみ町：地区避難所の整備

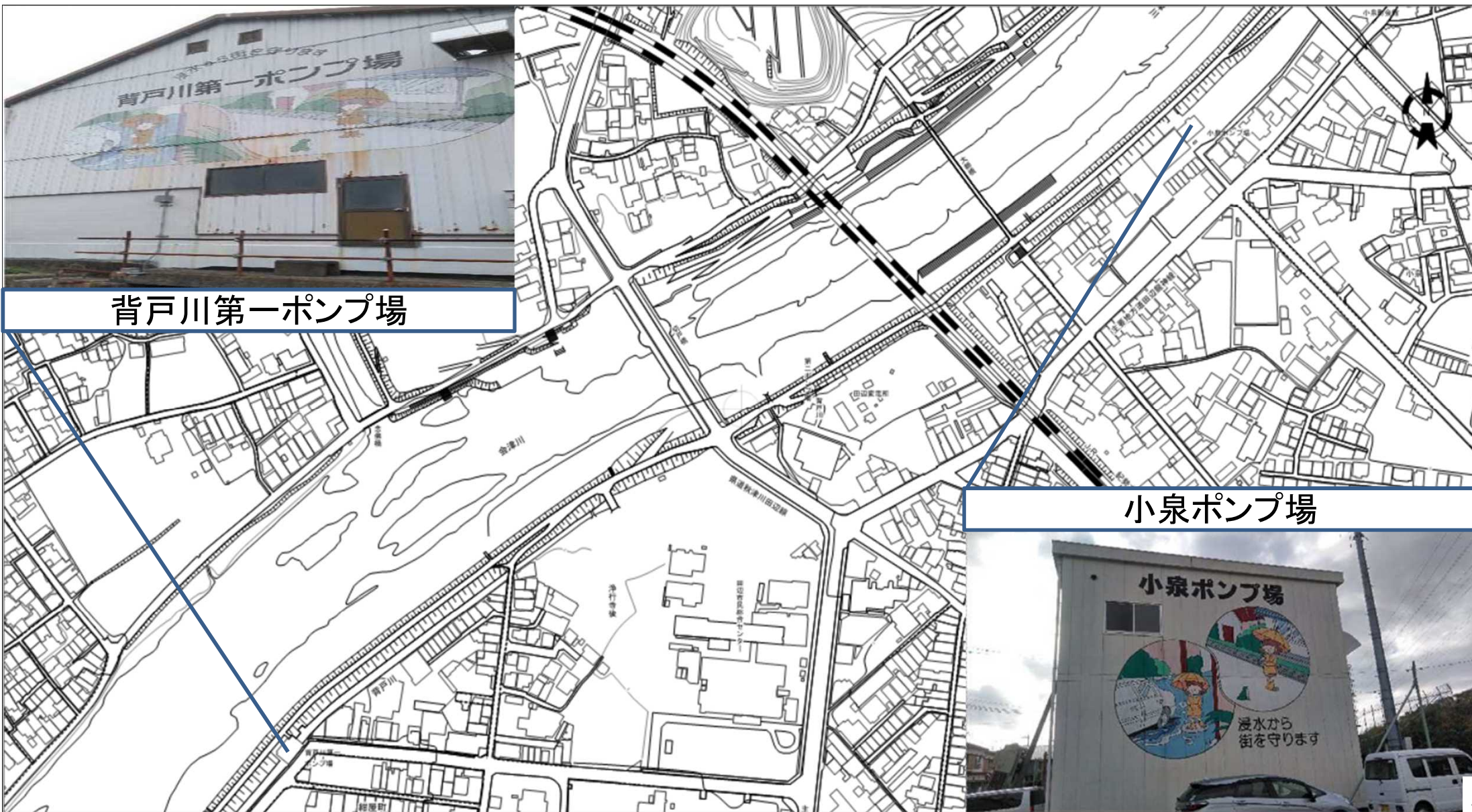
⑤河川管理施設等の整備に関する事項

- 流出抑制・内水対策
- ・下水道の整備

取組内容

- 老朽化したポンプ場の改築及び改修

取組概要



背戸川第一ポンプ場

小泉ポンプ場

取組内容

①情報伝達、避難計画等に関する事項

■避難場所・避難経路について

- ・想定最大規模の浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成

●洪水ハザードマップの作成

取組概要

◎内容

和歌山県が作成を計画する日置川の上流、富田川、日置川の支川、中小河川の最大規模降雨による浸水想定区域において、避難所や避難経路を記載した洪水ハザードマップを作成していく。

白浜町内 県河川(白浜地域)



取組内容

⑤河川管理施設等の整備に関する事項

■河川管理施設等の整備状況

・砂利採取

●砂利採取

取組概要

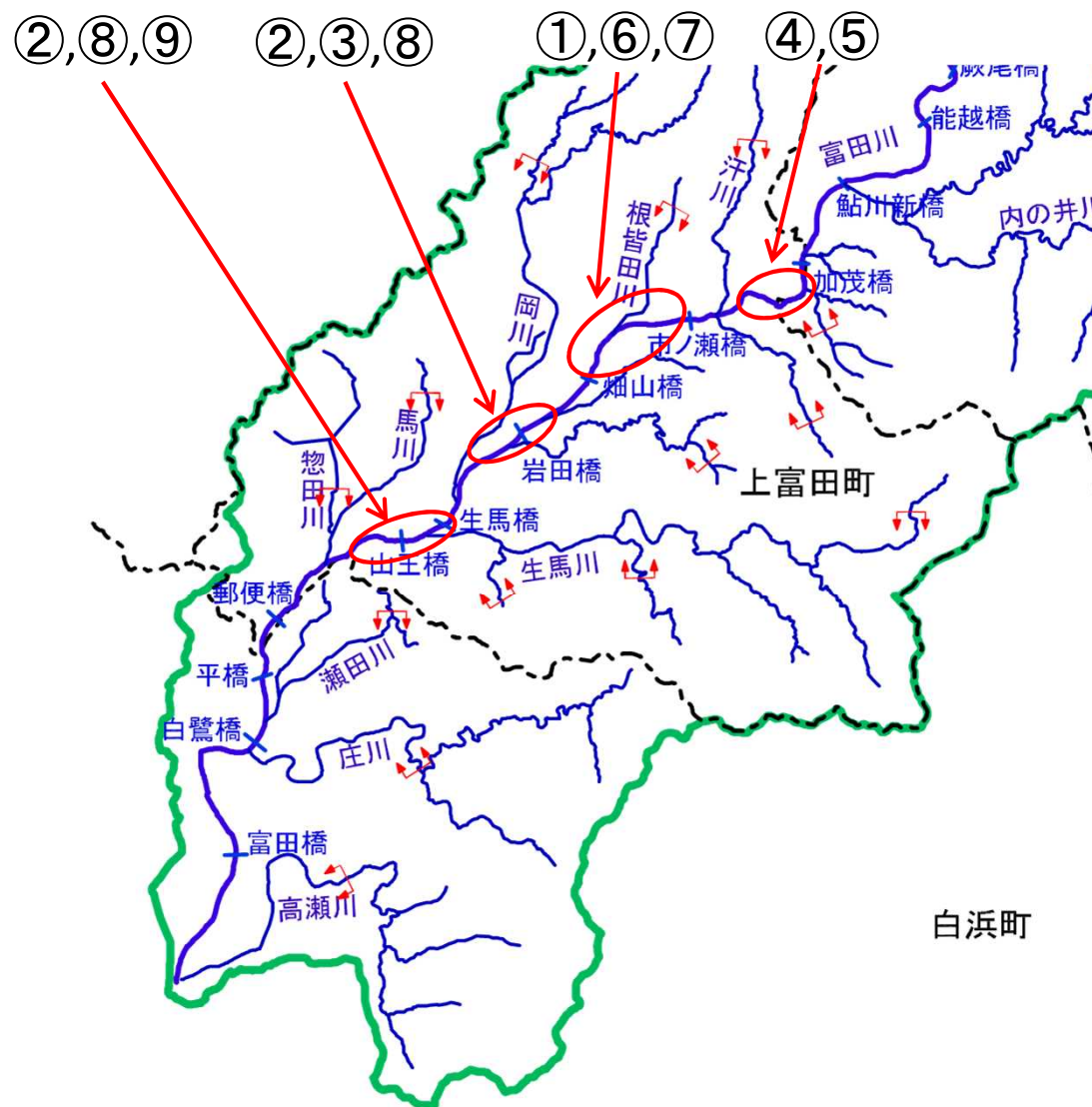
●上富田町では、毎年富田川土砂浚渫工事を実施。

(実施年度、採取量)

- ①R2年度、約31,000m³
- ②R元年度、約28,000m³
- ③H30年度、約29,000m³
- ④H29年度、約56,000m³
- ⑤H28年度、約53,000m³
- ⑥H27年度、約64,000m³
- ⑦H26年度、約60,000m³
- ⑧H25年度、約150,000m³
- ⑨H24年度、約47,000m³

H24～R2 約518,000m³

R4～R5 実施予定



②水防に関する事項

- 避難時間確保のための水防体制の強化
- ・水防訓練の実施

取組内容

●令和4年度 熊野川総合水防演習

取組概要

令和4年度 熊野川総合水防演習

○開催概要

目的：災害時における水防活動の実効を期し、水防思想の普及・徹底を図り、水防に対する住民の理解と協力を深め、水害の未然防止・軽減に資する事を目的とする

開催日程：令和4年5月28日(土)

開催場所：熊野川河川敷（予定）

主催：令和4年度熊野川総合水防演習実行委員会（国土交通省近畿地方整備局、和歌山県、三重県、新宮市、田辺市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町、熊野市、紀宝町により構成）

（参考）平成22年度 紀の川合同水防演習



（参考）平成22年度 紀の川合同水防演習

状況写真

・水防訓練（積み土のう工）



・埋没車両救助訓練



・半埋没家屋救助訓練



・河川内孤立者救助・緊急搬送訓練



取組内容

⑤河川管理施設等の整備に関する事項

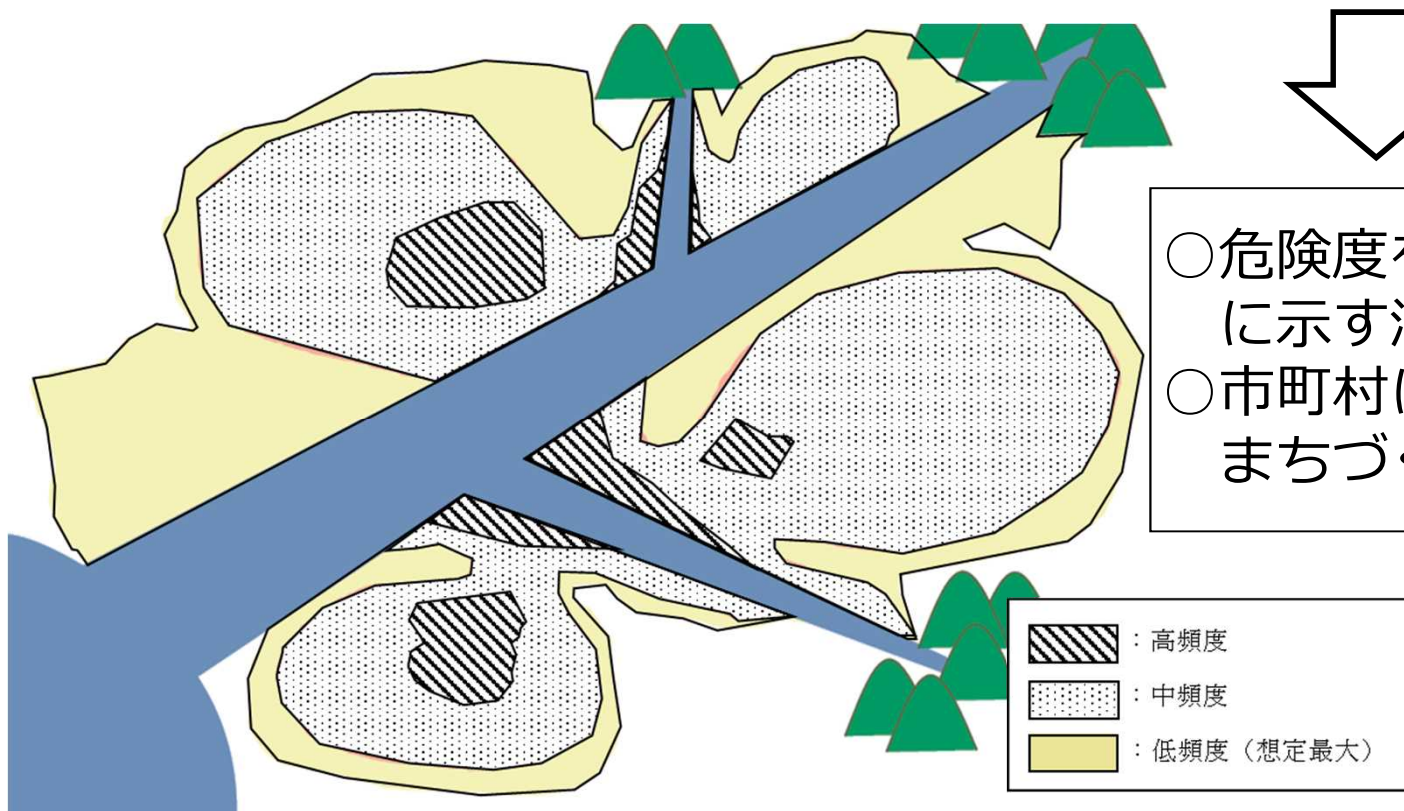
■流域対策に関する取組

- ・まちづくりでの活用のための多段階の浸水想定区域図の作成

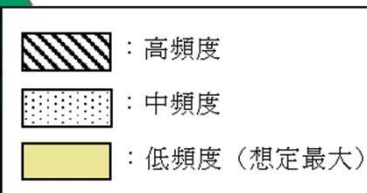
●水害リスク情報の高度化

取組概要

- 洪水予報河川及び水位周知河川における想定最大規模・計画規模の浸水想定区域図を作成・公表済み。
- 令和3年度より中小河川においても想定最大規模の浸水想定区域図作成を進めており、避難を目的に浸水する範囲、水深の周知を予定。
- これらの情報は、水害時の円滑かつ迅速な避難を確保する目的で作成されており、相対的な土地リスクの違いが分かりづらく、まちづくりの検討に活用しづらい。



- 危険度を多段階的（高頻度、中頻度等）に示す浸水想定区域図を作成
- 市町村における避難行動の検討や、まちづくり等に活用



【危険度を多段階に示した浸水想定区域図イメージ】

取組概要

現況(令和3年12月現在)

- ・整備地付近は南海トラフ大地震による津波と想定最大規模降雨による周参見川の洪水浸水想定区域。
- ・現避難所は、耐震性がなく1階部分は浸水すると想定されている。
- ・津波が到達するまで一定の時間はあるものの、付近の山にある緊急避難場所への道は石積みの階段や山道であるため高齢者など避難に時間を要する住民が安全に避難するのが困難。
- ・建設予定地の標高が低く津波・洪水の浸水リスクがあるため、浸水に耐えうる造りとするよう敷地の嵩上げと建物構造を検討しながら設計中。
- ・令和4年度中に工事完了予定

